

真田で楽しく！元気に！暮らしたい人のためのフリーペーパー

いきいき♪

真田

生き生き ふるさと通信

第 50 号 2016年 10月 1日発行【真田地域に全戸配布】



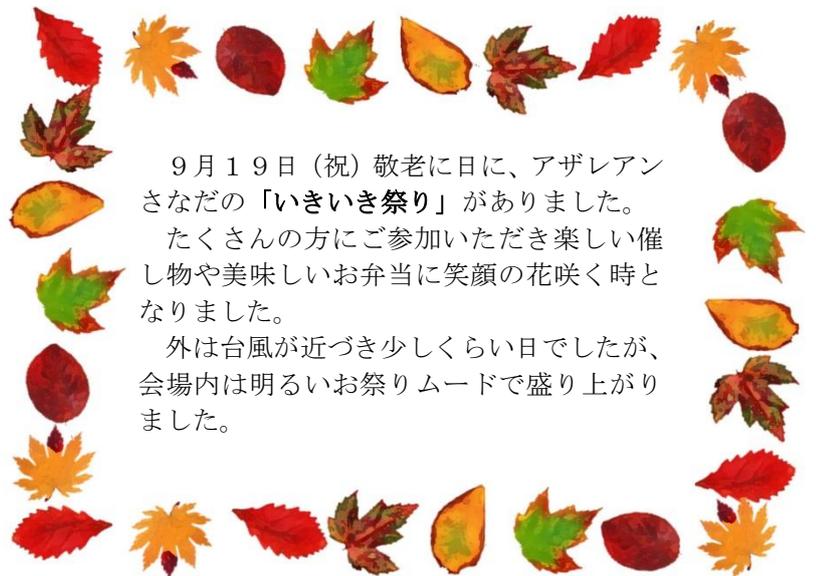
103歳の藤沢けい子様
まだまだ、お元気です。



今でも歴史検定にチャレンジ！
歴女の神津町江様



ご夫婦で参加の土肥豊様・まさえ様
仲睦まじくて素敵です。



9月19日（祝）敬老に日に、アザレアン
さなだの「いきいき祭り」がありました。

たくさんの方にご参加いただき楽しい催
し物や美味しいお弁当に笑顔の花咲く時と
なりました。

外は台風が近づき少しくらい日でしたが、
会場内は明るいお祭りムードで盛り上がり
ました。

真田生き生きふるさと通信

祝 50 号

真田生き生きふるさと通信は、2010年1月に産声を上げました。早いもので6年以上になります。地域に根付いたフリーペーパーを目指して、真田町の皆様に全戸配布いたしております。毎回、写真で表紙を飾っておりますが、今回は表紙を飾ったお子様たちが成長した姿をご提供いただきました。当時の掲載写真と一緒にご覧くださいませ。

2010年3月創刊号に掲載させて頂いた、左から諏訪部さん家の葉菜さん（当時2歳）、葉月さん（当時4歳）です。4月号には妹の琴葉さんが生まれたところは通信でご報告いたしました。



現在は・・・

葉菜さん(9歳)、葉月さん(11歳)、琴葉さん(6歳)
そして、葉流くん(2歳)が生まれて4人兄弟になりました。みんな大きくなりましたね！



2011年11月5日発行の第21号で掲載いたしました。
左から永井さん家のきょうか杏佳さんとゆうか佑佳さんです。



現在は・・・
きょうか杏佳さん(11歳)とゆうか佑佳さん(14歳)
です。
2人ともお姉さんになりましたね。



発行当初は、「気になるあの店」・「今月のクローズアップ」・「おらが一番」・「行ってきました」・「民話・伝説の里をたずねて」などの企画で彩られてきた紙面でした。そのうち、「我が家のペット自慢」・「真田町の社長さん」・「真田地域包括支援だより」・そしてなんといっても次回最終回を迎える常田軍三様の「真田心を考える」と展開してきました。これからも、広報委員のメンバーを入れ替えながら新しい視線で紙面を作っていくたいと思っております。

100号目指して頑張るぞ！

皆様も、掲載してほしい企画、広告、写真等がございましたらアザレアンさなだまでご一報ください。ご意見もお待ちしております。

4月・7月・10月に発行しています。電話番号 0268-72-2781です。



アザレアンさなだの応援団「えぼし会」のご紹介



朝から猛暑の続く8月26日。アザレアンさなだに隣接している畑で作業をしている人たちがいます。その名も「えぼし会」。代表世話人の柳沢邦男さま、青木和男さまをはじめボランティアの方々とアザレアンさなだの職員で活動をしている会です。

今回は、畑にお邪魔して皆さんにお話を伺ってまいりました。

お二人とも町内外問わず幅広く活躍されていて、情報も豊富でお話ししていると時間があっという間に過ぎてしまいます。作業しながらも話が尽きることはありません。その日の作業は「ねぎ」の草刈と

「だいこん」の種まき。ねぎも元気に成長していますが、雑草の成長にも大変な労力を注がなければなりません。丁寧に草をかき、傷んでいる部分のねぎを剪定してきれいな畑になっていきます。

アザレアンさなだの職員は、お二人からの指示通りに慣れない手つきで大根の種を蒔いています。コツは深すぎず浅すぎず植える事。

ひと仕事終わりの休憩時には、真田の歴史や、著名な方々のお話など楽しそうにお話ししてくれます。何も知らない私たちの興味を引き出してきて、雰囲気をごんごん明るくしてくれます。

「えぼし会」は、平成6年から、特別養護老人ホームアザレアンさなだに入居されているご家族や地域の方々により、施設運営のサポートを目的としたボランティア団体として発足しました。

年間の主な活動内容は、施設に隣接している畑を借りて、季節野菜の栽培から管理、収穫作業を行っています。また、収穫された季節の野菜は、アザレアンさなだだけでなく、地域に点在している事業所(小規模多機能型居宅介護4か所、宅幼老所3か所、グループホーム4か所など)に無償で利用者様への季節感ある食材を提供しています。

[畑作業の内容]

4月…ジャガイモ、葱苗の下準備(種芋・苗の準備/畑の土壌整備)～植えつけ作業

6月…除草作業

7月…ジャガイモ収穫作業～事業所への配達

9月…野沢菜・大根の種まき下準備、葱の土寄せ作業～種まき作業

10月…除草作業

11月…野沢菜、大根、葱の収穫作業～事業所への配達

[カラオケを楽しむ会]

5月…準備会議

6月…カラオケを楽しむ会、反省会

イベントとして、施設併設型のデイサービスセンターアザレアンフロアを活用して、大規模なカラオケを楽しむ会を「えぼし会」主催で開催しています。今年度で14回目の開催となった現在では、他のボランティア団体やデイサービスセンターアザレアン利用者様以外の法人サービス利用者様が楽しみにしている行事として定着しました。

真田地域で8月に行われる「さなだ祭り」では、焼き鳥・飲み物の屋台を出店しています。2千人以上が足を運ぶ大きなイベントの出店としても定着し、毎年楽しみにしてくれているお客様も多くいらっしゃるそうです。

アザレアンさなだ以外にも多方面でご活躍されている「えぼし会」の方々からは、地域の歴史や情報が会話の中からあふれています。作業中にも関わらず取材にご協力いただきました。これからもよろしく願いいたします。

真田地域包括支援センターだより

平成28年10月

開催団体募集!!

地域リハビリテーション

地域での介護予防を目的として、地区の公民館等で月1回程度、定期的に高齢者の方が集って運動を行っていただける団体（5名以上）及びリーダーさんを募集中です。講師代は、無料です。興味のある方は、真田包括までご相談ください。



認知症サポーター養成講座

「認知症サポーター」とは、なにか特別なことをする人ではありません。認知症について正しく理解し、偏見をもたず、認知症の人や家族を温かく見守る応援者です。

真田包括では、随時、認知症サポーター養成講座の開催を希望する団体を募集しています。

詳しくは、真田包括にお問い合わせください。

事例を交えて学ぶ 成年後見制度 研修会 受講者募集!!

- ◎ 開催日時
平成28年10月13日（木）
午後1時30分から午後3時まで
- ◎ 講師 上小圏域成年後見支援センター職員
- ◎ 会場 上田市真田総合福祉センター
2階大会議室
(上田市真田町長7190)
- ◎ 申込締切 平成28年10月7日（金）
※資料配付等の関係上、お申し込みをお願いいたします。
- ◎ 申込先・問合せ先 真田地域包括支援センター
☆たくさんの御参加お待ちしております☆



7月20日に開催しました「特殊詐欺被害防止研修会」には、福祉関係者や地域の方々など、約50人に御参加いただきました。ありがとうございました。





第22回 真田三代の活躍

常田 軍三

十、 幸隆 西上野への転戦

日本の戦国時代の戦史上、第四回の川中島合戦は、名にしおう合戦である。だから大小取り合わせて、無数にある、日本の戦国時代の戦史の中でも、際立って評判の戦史として語り継がれてきた。

武田信玄にとってみれば、この戦いは、結果的には、越後の上杉軍の川中島からの敗走に終わり、一応は武田軍の勝利のように見えるけれども、信玄の弟の典厩^{てんきゆう}信繁、双眼の武将山本勘助、両角^{もろずみぶんご}豊後、初鹿野^{はじかの}源五郎の名だたる武将と多くの兵士を失い、信玄にとっては、勝利を喜ぶには程遠い戦いであった。

戦が終わりに、善光寺平の行く秋の早朝の風景を目にしながらか、幸隆はむしろ呆然自失としていた。

「このまま甲斐にすごすごと、帰国するわけにいくまい。一応信濃の国は、北信濃までは席卷した。これ以上越後の国への経略を進めることは愚かしいことであるかも知れぬ。ここは思案を凝らし、わが甲斐の経略の志向を上野に向かうことが妥当かもしれぬ」ここまで考えが及んで信玄は微笑みを頬にうかべた。

こうして、翌日、信玄は武田軍の軍議を開き、旗下の武将たちに「北信濃を引き上げ、甲斐甲府へ帰還する」旨の命令を発し、永年にわたる川中島合戦の軍旅を終えた。

故国信州真田に帰ってしばらくすると、信玄から直ちに甲府に出府するようにとの命令があった。幸隆が躑躅ヶ崎^{つっじがさき}の館に赴くと、

「そちに今日来てもうたのは、他でもない。西上野へ転戦のことじゃ」

信玄から唐突に話が告げられた。

「おそらくこの度の用向きは、西上野への転戦ではないかと予想して出てまいりました。して、目標は岩櫃城^{いわびつじょう}でござるか」

次回最終回

発行元：「真田 生き生きふるさと通信」広報委員会 事務局：高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ内
〒386-2201 上田市真田町長 7141-1 有線 2111
TEL 0268-72-2781 FAX 0268-61-4010 E-mail keijinfukushi@azarean.jp

イベント情報や、通信を読まれてのご意見、ご感想をお寄せください。